

第27回「緑の環境プラン大賞」の受賞団体決定

第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎)が出捐した一般財団法人第一生命財団(理事長:森田富治郎)は、この度、第27回「緑の環境プラン大賞」の受賞団体を決定しました。

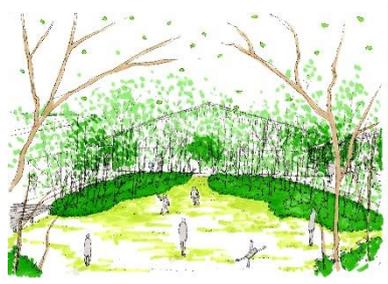
本賞は、第一生命保険株式会社と公益財団法人都市緑化機構が平成2年に「緑のデザイン賞」を創設し、これまで全国各地で緑の拠点作りを支援してきましたが、平成28年度から第一生命財団も参画し、さらに、より多様な社会的ニーズに対応すべくプログラムのリニューアルを行い、名称も「緑の環境デザイン賞」から、「緑の環境プラン大賞」へと変更しました。

今回、全国から、シンボル・ガーデン部門14点、ポケット・ガーデン部門31点、特別企画「おもてなしの庭」4点、計49点の応募があり、2016年9月15日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

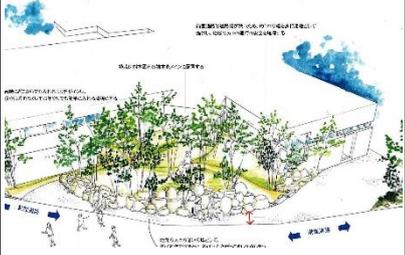
■シンボル・ガーデン部門(1点当たりの助成上限金額:1,000万円)

・地域のシンボルとなる緑の空間を創出するプランへの表彰・助成

◎国土交通大臣賞 [1点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
株式会社 キャッセン 大船渡	「千年広場」 プロジェクト (岩手県大船渡市)	震災復興による新たなまちづくりにおいて、大船渡市の街の真ん中に四季の移ろい、草花の匂い、緑のやさしさ等、自然のやさしい側面を感じさせる広場を創出するプラン。自然と共に暮し、共に育つ、末永く地域で育むことができるようにとの願いを、「千年の広場」の実現により未来に伝えていく。	

◎緑化大賞 [2点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
学校法人 ろりぽっぷ 学園	いぐねのにわ —ほかならぬ場所— (宮城県仙台市)	震災によりがらりと景観を変えた仙台市若林地区において、仙台平野の原風景である「いぐね」を、子どもたちを育む広場に創出するプラン。ひとつの集落のように皆が集い、地域の人たちが改めて自然の尊さ、豊かさ心地よさを感じ、元気に遊ぶ子供達の声が絶えない明るい地域づくりを目指す。	
社会福祉法人 敬愛福祉会 敬愛保育園	地域の縁側/ MoMoの森 (熊本県玉名市)	熊本地震に直面し、地域の連携やパブリックスペースの大切さを痛感した経験から、保育園の外構部に、地域の人が寄り添える緑の空間(地域の縁側)を創出するプラン。接道部に自然石のベンチや木陰をつくり、子どもたちや地域の人々が普段から交流できる場所が生まれることを目指す。	

■ポケット・ガーデン部門(1点当たりの助成上限金額:100万円)

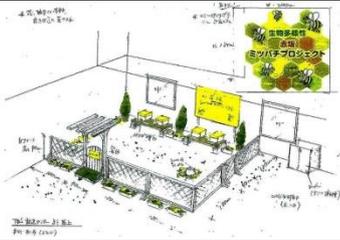
・身近で日常的な緑の空間を創出するプランへの表彰・助成

◎国土交通大臣賞 [1点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
真言宗豊山派 圓乗院	世田谷 ポケットナーセリー (東京都世田谷区)	空家を活用し、公園の少ない密集市街地に緑陰と集まる場としてのコミュニティ広場を創出し、地域を育てるナーセリーとなる場を目指す。郷土の樹種の種苗園を設け、地域の核となる緑を生育、配布し地域の緑資源を育てる。	

◎コミュニティ大賞 [9点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
特定非営利 活動法人 とめタウンネット	おおあみコミュニティ グリーンプロジェクト (宮城県登米市)	アルテラスおおあみの空き敷地を活用し、東日本大震災被災者と地域住民らが協働で植栽や定期的なイベントを通して出会い、生きがいを見つけ、居場所を得るという、地域全員参加型の緑化事業を行う。	
オープンガーデン ・うらやす ガーデン トーククラブ	ようこそ！ トピアリーの世界へ！ (千葉県浦安市)	浦安市新庁舎の花壇でキンメツゲを動物の形に刈り込んで、見て楽しい緑の「トピアリーガーデン」の実現を目指す。子供たちにもハサミを持たせ、遊びながら植物に触れる機会を増やしていく。	
上尾市立 東町小学校 おやじの会	地域と育む みどりの学校 ファーム&ガーデン (埼玉県上尾市)	小学校内の畑に隣接する空地を活用し、児童や地域の方々が四季折々の草花とふれあい・集える場を学校応援団やPTA等と連携を図りながら、緑の創出・管理を行っていく。	
社会福祉法人 育愛会 明日香保育園	天使たちの苑 (東京都北区)	花と緑の豊かな園庭を作り、保育園の横をお散歩する方々がモッコウバラのアーチをくぐり、園庭のベンチに座って、園児達と交流することを目指す。	
TOKYO STREET GARDEN	上野桜木・桜緑荘 リノベーション プロジェクト (東京都台東区)	子育て・地域交流サロンとして運営されている空き家の庭をリノベーションし、植木鉢交流サロンとしての活用や、地域住民との協働による植栽の実施、ベンチを置いての交流スペースを作りだす。	

赤坂みつばちあ 及び TBS テレビ	赤坂 BeeTown プロジェクト (東京都港区)	「楽しめる屋上緑化とミツバチによる生物多様性」をテーマにTBSテレビ社屋の屋上で養蜂を実施している。今回、ミツバチが蜜や花粉を集めるプランターを倍増し、多様性を図る。	
Joy of Roses	太陽ローズガーデン 環境整備 (神奈川県横浜市)	2017年に花壇造成15周年を迎えるにあたり、バラの株数の増加とともに老朽化した枕木等の改修を図り、バラ花壇の再整備を行う。	
春江大好き プロジェクト	小児科となりの セラピーガーデン (福井県坂井市)	小児科病院の隣に造成したセラピーガーデンのバラ苗を追加する他、ハーブ類を加え、病院を訪れる親子だけではなく、地域の人々が集まる場として改良を行う。	
特定非営利 活動法人 地球デザイン スクール	ハッチョウトンボ のジュル田 プロジェクト (京都府宮津市)	京都府の準絶滅危惧種・ハッチョウトンボの生息環境を維持するために、丹後海と星の見える丘公園の湿地の修景を行う。	

■ 特別企画「おもてなしの庭」(助成上限金額:2,020 万円)

東京都が 2014 年 12 月に公表した「東京都長期ビジョン～『世界の都市・東京』の実現を目指して～」の中で、2020 年までに東京のおもてなしの精神を全世界に発信することを目指していることにちなみ、**東京都内の花と緑で観光客を迎える優れた緑化プランに対し、2,020 万円を上限として整備費を助成する**ものです。

受賞者名	作品名	場所
公益財団法人東京都公園協会	日比谷公園おもてなしのバラ園	東京都千代田区
プラン概要		プランイメージ
<p>テーマは Japanese Delegate = 日本代表</p> <p>我国最初の洋風公園として開園した日比谷公園において、開園当初から姿の変わらない第一花壇をレイアウトは変えずに植物の植替えによって再生し、海外からのお客様をお迎えするのにふさわしい場とするプラン。</p> <p>日比谷公園第一花壇を、世界からミスターローズと言われた鈴木省三氏を筆頭とした日本を代表する育種家によるバラの品種が一同に会し、見比べることが出来る稀有なバラ園とするとともに、オリンピック・パラリンピック時にも花や植物を觀賞できるよう「おもてなしのバラ園」としてリニューアルし、2020 年に向けての地域の機運の醸成を目指す。</p>		

第27回 緑の環境プラン大賞の概要

■目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。また、東京都内を対象として「おもてなしの庭」プランを公募し、優れたプランを表彰・助成することで、花と緑で観光客を迎えるおもてなし空間の創出を図ります。

■募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	地域のシンボリックな緑地として、緑の持つヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。
特別企画 「おもてなしの庭」	東京都限定	2020年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを東京都内限定で募集します。

■表彰

●シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞1,000万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	2点以内	副賞1,000万円以内（工事に対する助成金）

●ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）
コミュニティ大賞	9点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）

●「おもてなしの庭」プラン

おもてなしの庭大賞	1点程度	副賞2,020万円以内（工事及び活動に対する助成金）
-----------	------	----------------------------

■審査委員

委員長	進士 五十八	東京農業大学 名誉教授 / 福井県立大学 学長
委員	金子 忠一	東京農業大学 教授
	栗田 卓也	国土交通省 都市局長
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
	松本 肇	株式会社産業経済新聞社 取締役 営業・事業担当
	村上 暁信	筑波大学 システム情報系 教授
	渡邊 光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	小野 文夫	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■スケジュール

募集期間	2016年4月1日～6月30日	入選発表	2016年10月17日
審査会	2016年9月15日	表彰式	2016年11月11日於：明治記念館

■主催等

主 催	公益財団法人都市緑化機構、第一生命保険株式会社、一般財団法人第一生命財団
後 援	国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、東京都(おもてなしの庭)
協 賛	一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、 一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会
協 力	株式会社フジテレビジョン、株式会社産業経済新聞社、株式会社ニッポン放送

<お問い合わせ先>

一般財団法人 第一生命財団 TEL 03-3239-2312